



2020年8月期 第2四半期決算概要

株式会社 技研製作所

〈証券コード:6289〉

(1) 建設機械事業

- ・ 主力製品であるU形鋼矢板400mm用の圧入機が、人手不足などの先行きへの不透明感や新しい機械への期待感から、顧客は設備投資に慎重となっており、販売の勢いが減少傾向となった。

(2) 圧入工事事業

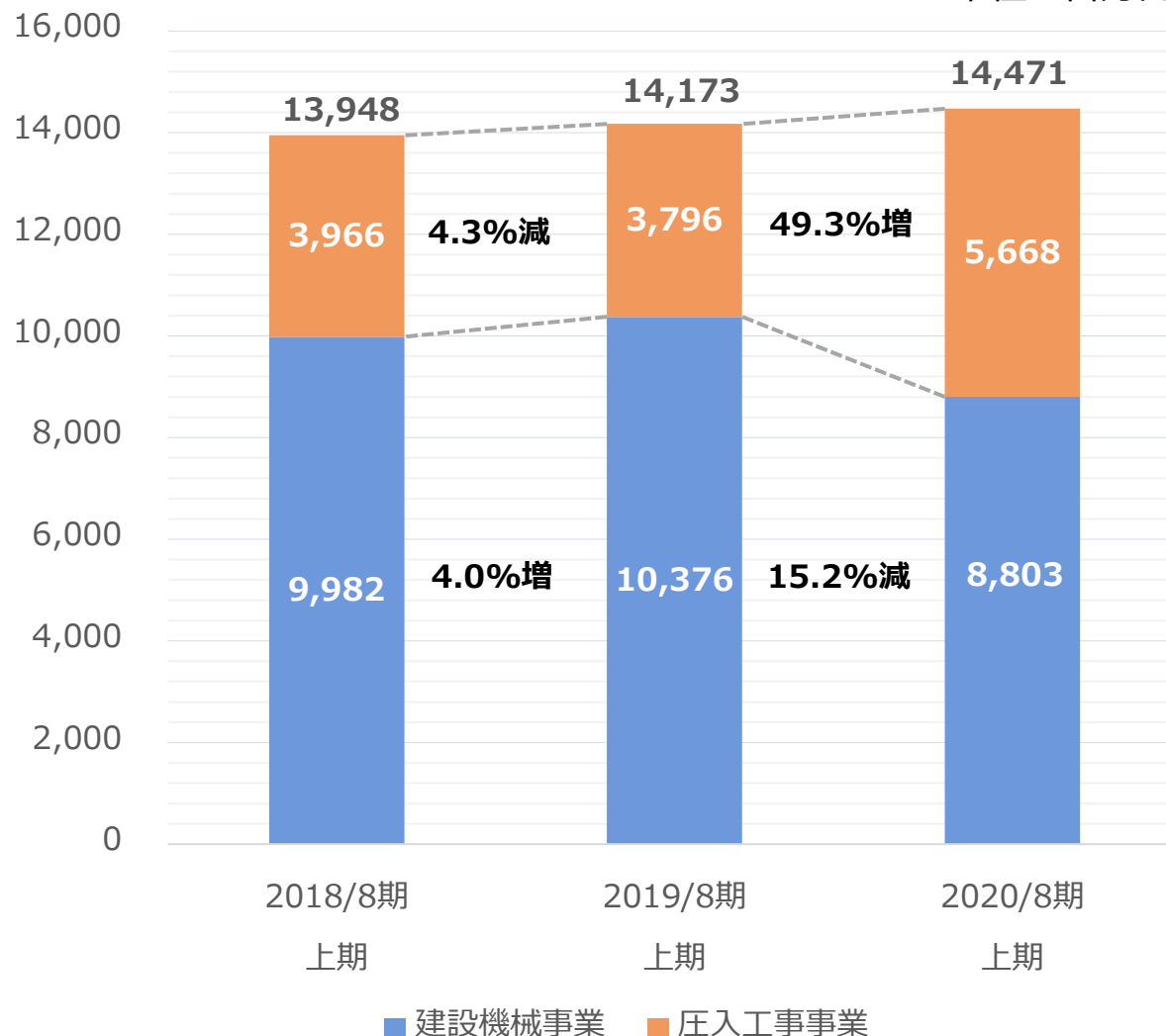
- ・ 防災対策として、また急速性と人手不足の解消として、大型圧入機によるインプラント工法の受注が堅調で、省力化や生産性向上に向けた新技術の現場実証も含め、グループ一丸となって全国にて施工を進めた。
- ・ 海外ではセネガル共和国ダカール港での岸壁改修工事が継続中。

単位：百万円

	2018/8期	2019/8期		2020/8期	
	上期実績	上期実績	前年比	上期実績	前年比
売上高	13,948	14,173	+1.6%	14,471	+2.1%
営業利益	3,167	3,209	+1.3%	2,491	▲22.4%
経常利益	3,196	3,253	+1.8%	2,532	▲22.2%
四半期純利益※	2,202	2,284	+3.7%	1,688	▲26.1%
1株純利益	82.80円	84.71円	+2.3%	61.88円	▲27.0%

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

単位：百万円

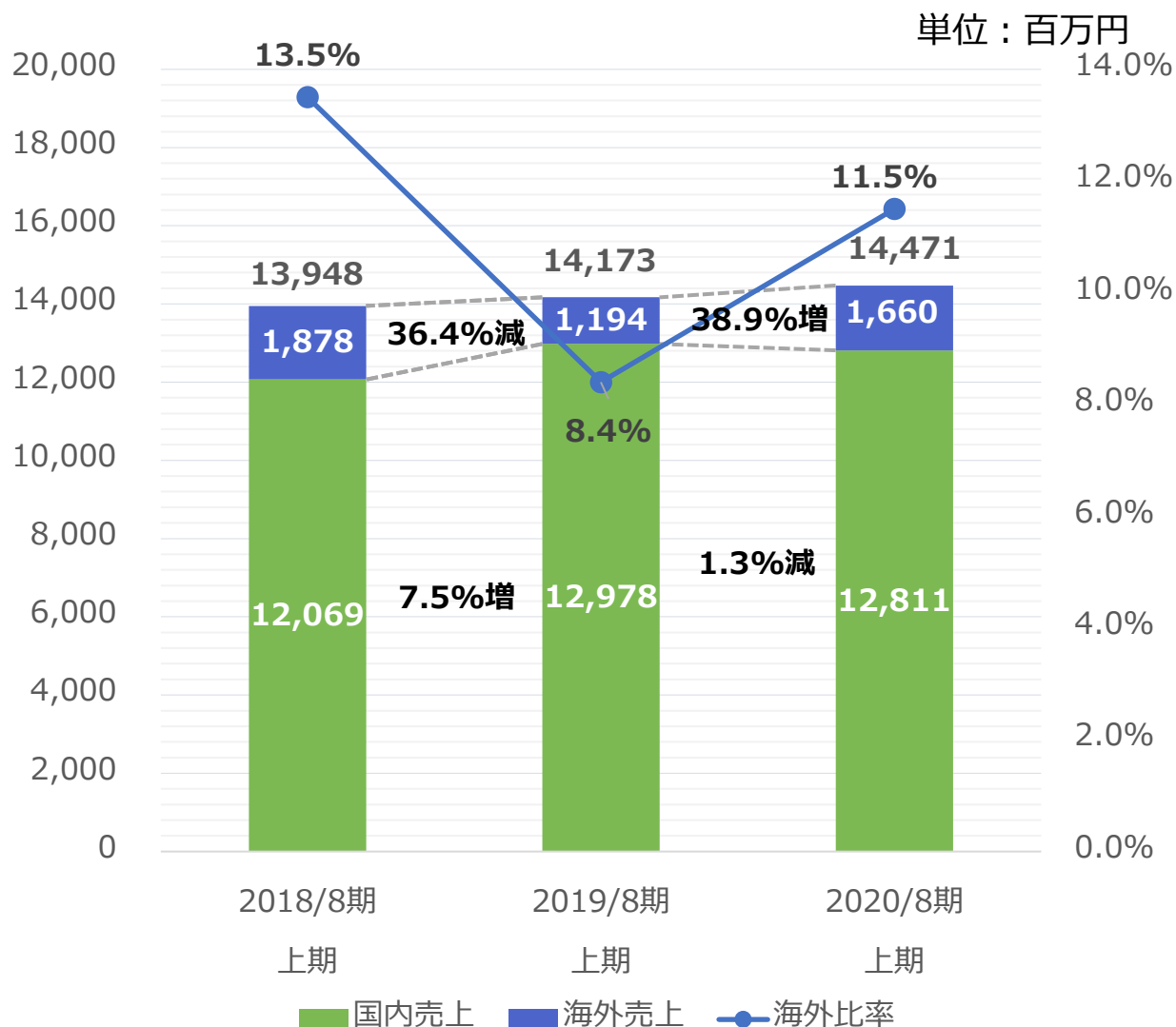


◇建設機械事業
1,572百万円減

人手不足などの先行きへの不透明感、新しい機械への期待感から、顧客は設備投資に慎重となり、販売台数が減少。

◇圧入工事事業
1,871百万円増

台風・豪雨被害の復旧工事や、都市部でのインフラ工事、港湾・高速道路の整備工事など、インプラント工法の拡大により増収に転換。



◇国内売上 167百万円減

建設機械事業の売上が落ち込んだものの、圧入工事事業が好調であったことにより、微減となった。

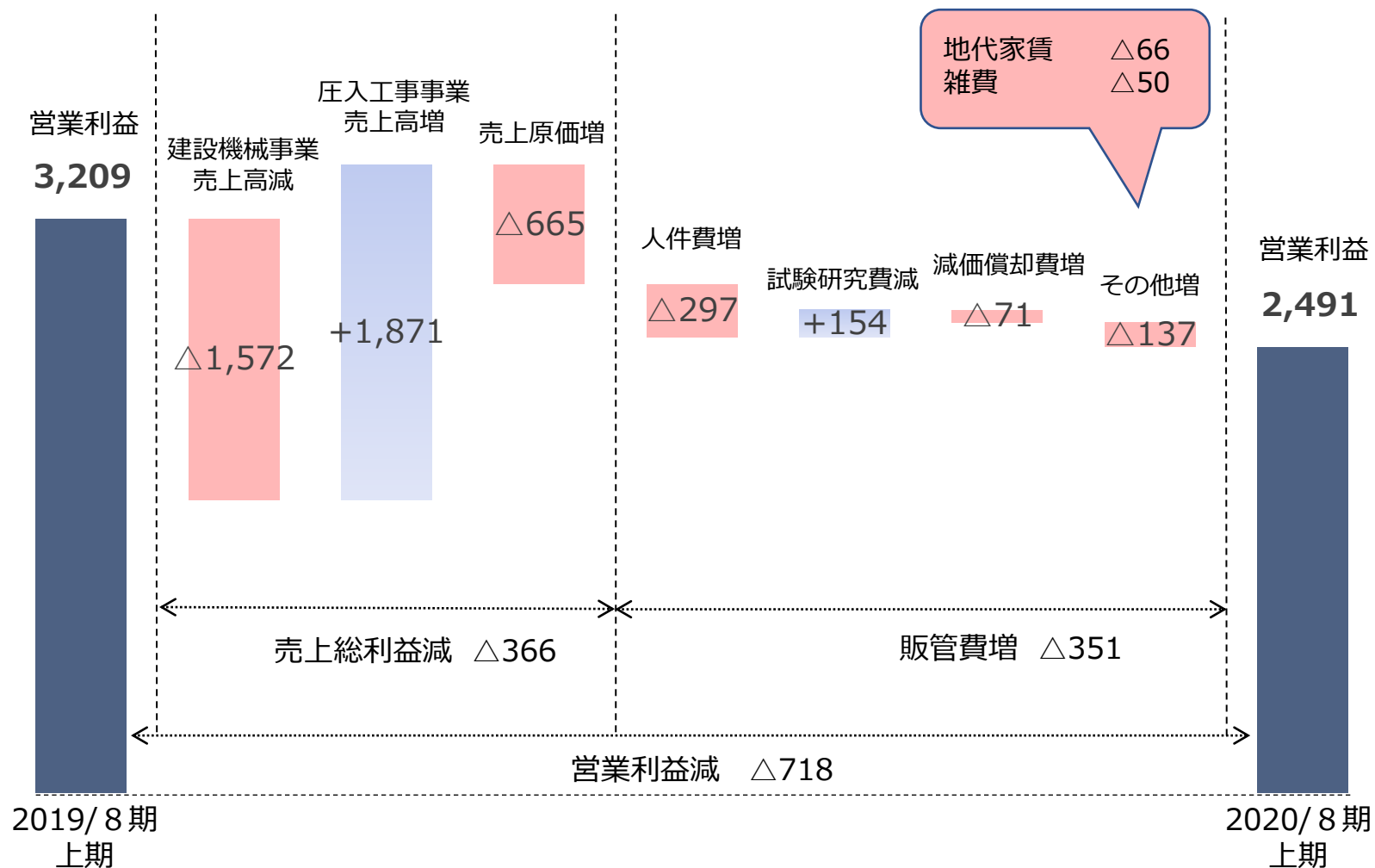
◇海外売上 465百万円増

アメリカ向けの製品販売が前期に比べ増加したことに加え、ODA案件での工事売上計上に伴い、増収。

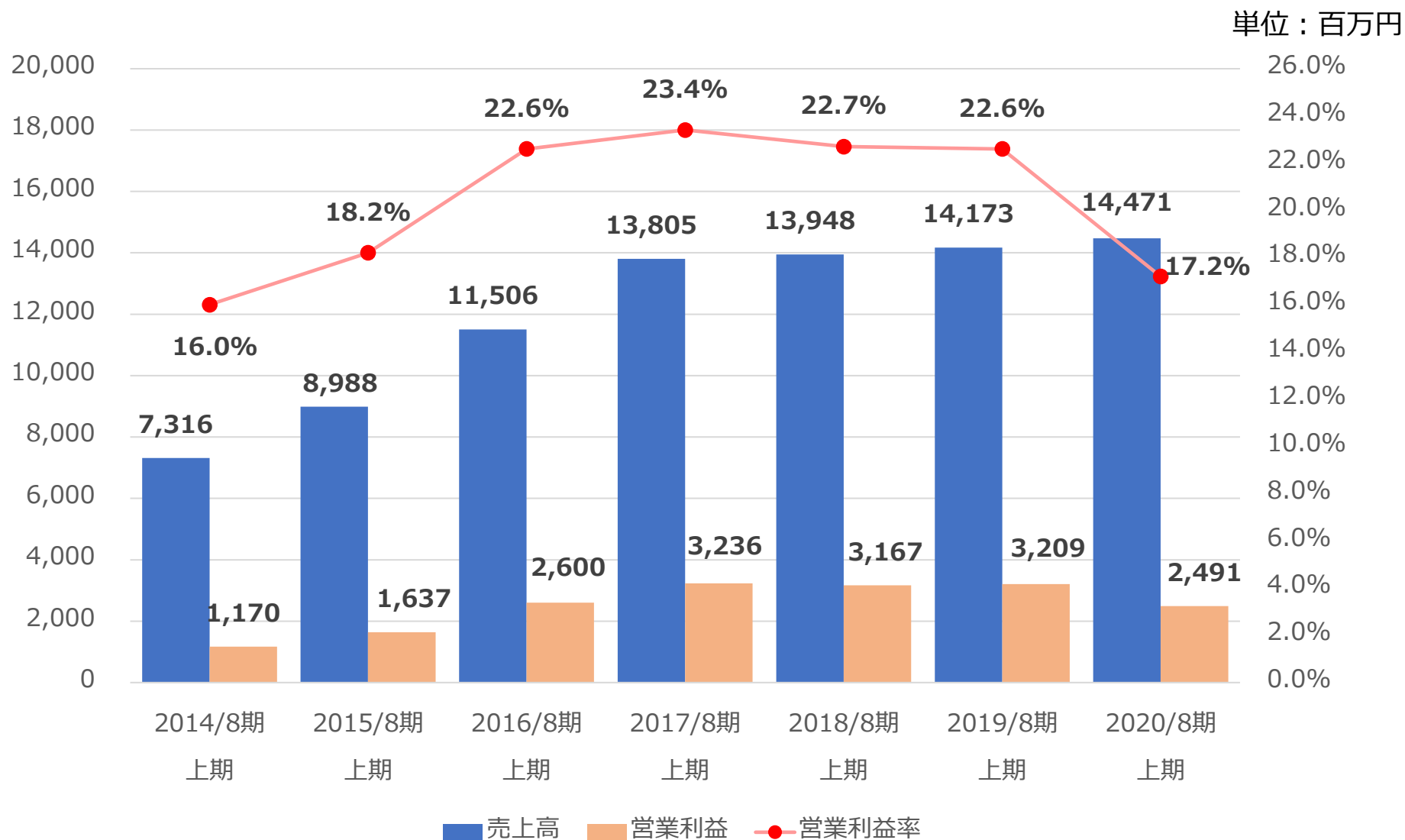
決算概要 – 営業利益増減



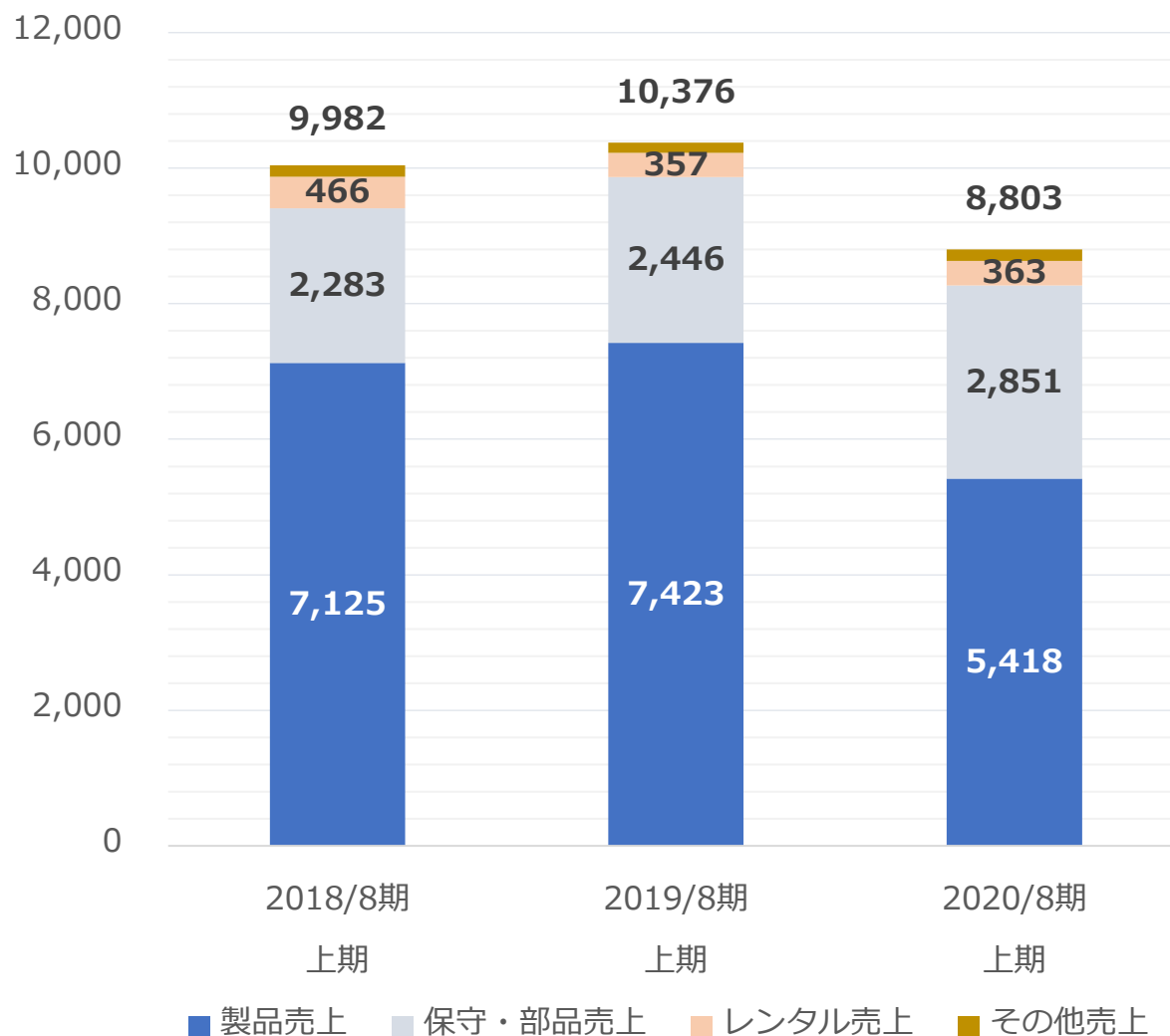
単位：百万円



決算概要－営業利益率推移



単位：百万円

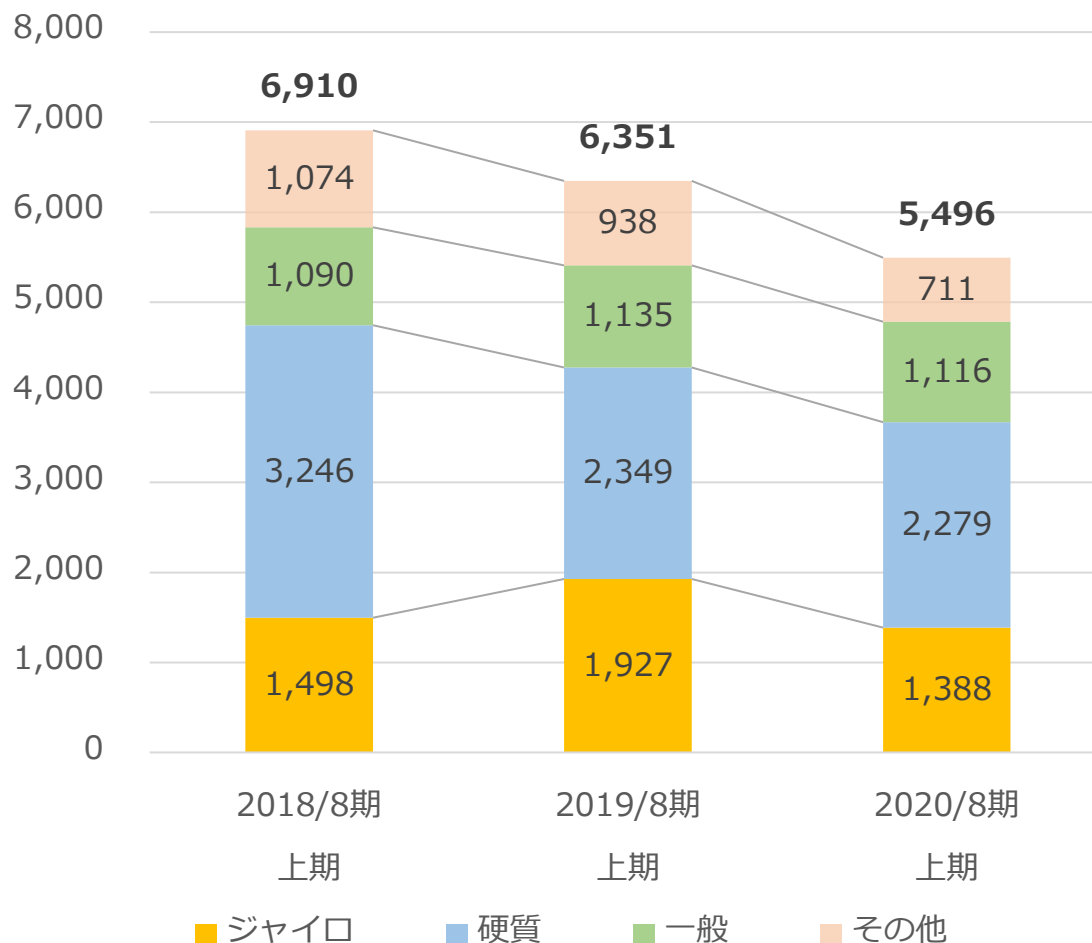


製品売上は減少。

一方でGIKENメンテナンスシステムの拡大により、保守・部品売上が増加。

製品区分別出荷額推移

単位：百万円



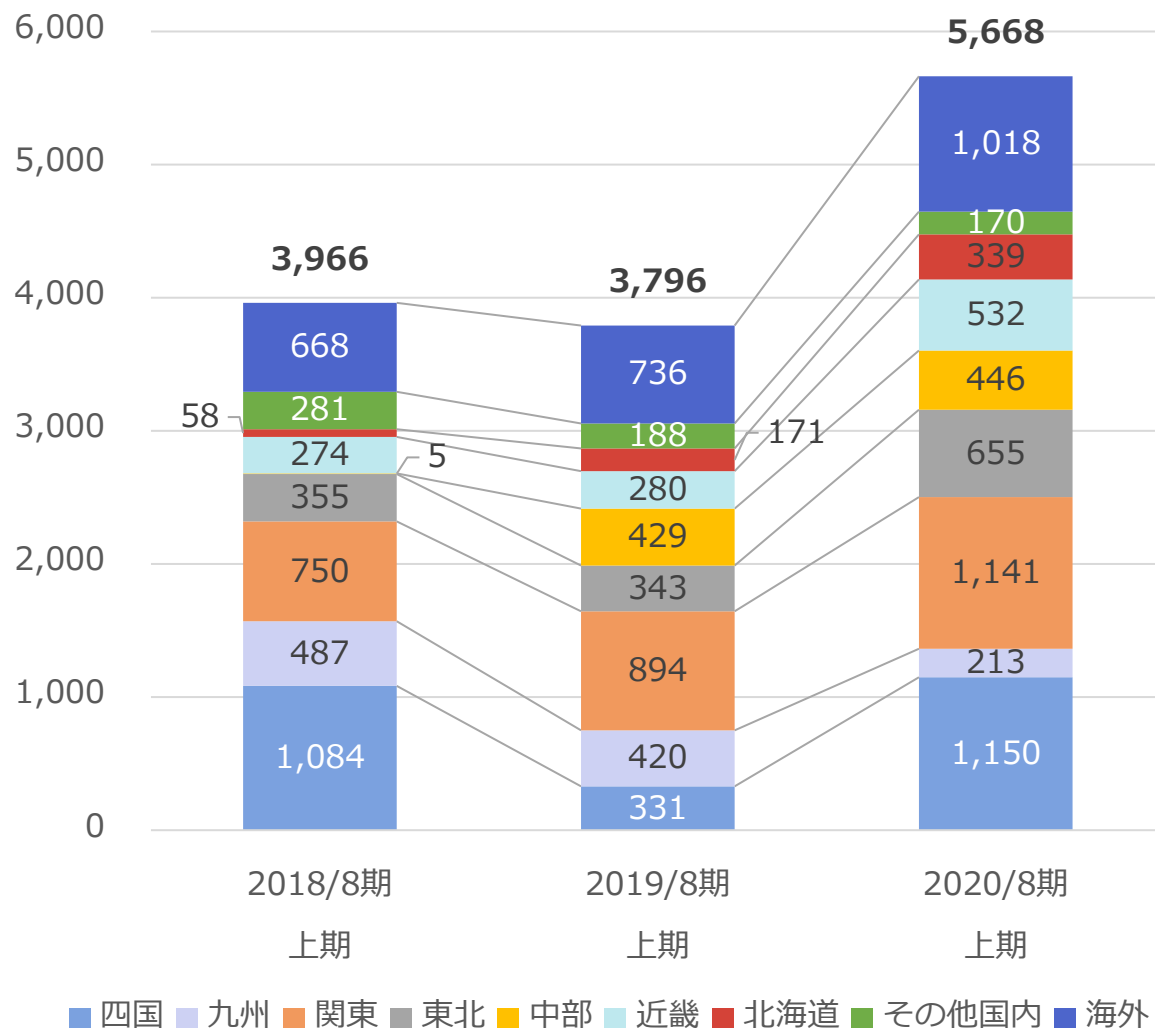
※ U形鋼矢板400mm圧入機は一般、硬質に含まれております。

※ 大型圧入機はジャイロ、硬質に含まれております。

決算概要－圧入工事業 地域別売上



単位：百万円



ODA案件工事、オーストラリアでの鋼材売上増により、海外売上が増加。
アメリカ合衆国やオーストラリアでの鉄道関連工事で圧入工法が採用。

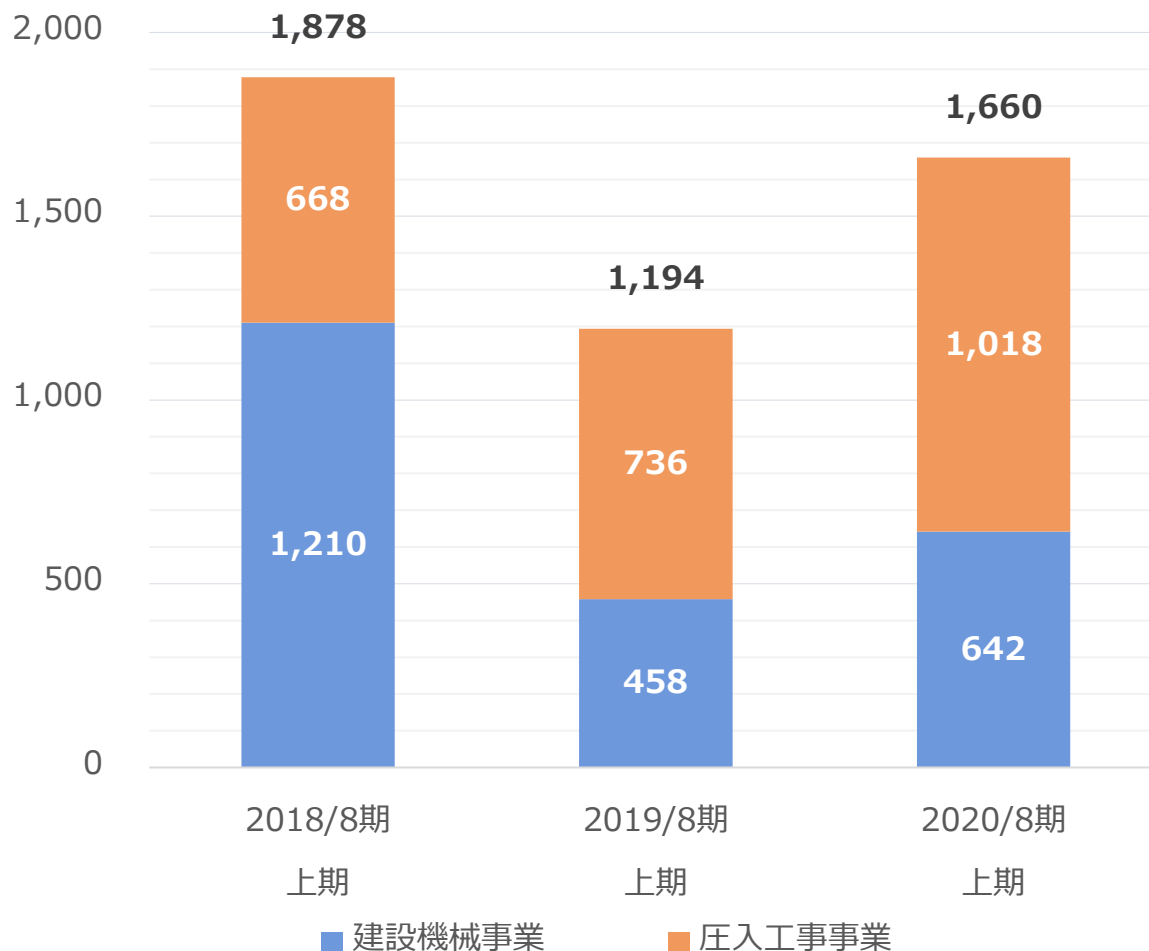
国内では、インプラント工法の採用が堅調に推移しており、クルーズ船対応の岸壁整備などの工事が行われ、特に四国・東北地方では海岸堤防の補強や防潮堤関係の工事が、順調に進められ増収。

(参考)
インプラント工法の採用件数
<2011年4月
～2020年3月累計>

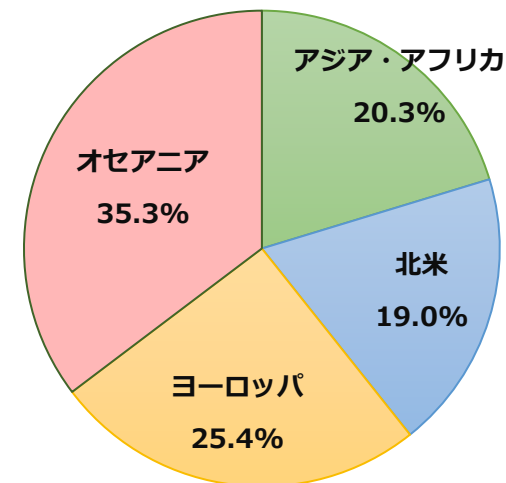
1,004件

単位：百万円

セグメント別海外売上高



海外売上高分布率



決算概要 – 連結貸借対照表



単位：百万円

科目	2019/8期末	2020/8期 上期	前期比 増減額
資産の部			
流動資産	26,909	27,415	505
固定資産	24,553	25,241	687
資産合計	51,463	52,657	1,193
負債の部			
流動負債	11,674	11,973	299
固定負債	1,459	1,377	▲82
負債合計	13,134	13,351	217
純資産の部			
株主資本合計	38,222	39,177	955
その他の包括利益累計額合計	▲591	▲600	▲8
新株予約権	242	381	138
非支配株主持分	456	347	▲109
純資産合計	38,329	39,305	976
負債純資産合計	51,463	52,657	1,193

棚卸資産の増加
1,915百万円

有形固定資産の増加
841百万円

利益剰余金の増加
762百万円

決算概要－連結キャッシュ・フロー計算書



単位：百万円

区分	2019/8期 上期	2020/8期 上期	前期比 増減額
営業CF	372	3,050	2,677
投資CF	▲1,111	▲1,126	▲14
財務CF	77	▲814	▲892
現金等 期首残高	5,329	4,920	▲409
現金等 期末残高	4,674	6,027	1,352

◇営業CF

2020/8期 前期比+2,677百万円

※2019/8期に比べ売上債権が減少

◇投資CF

2020/8期 ▲1,126百万円

- ・定期預金の預入による支出 ▲1,240百万円
- ・定期預金の払戻による収入 2,126百万円
- ・有形固定資産の取得による支出 ▲1,961百万円

◇財務CF

2020/8期 ▲814百万円

- ・株式の発行 174百万円
- ・配当金の支払 ▲925百万円

2020年8月期 業績予想

単位：百万円

	2019/8期 実績	2020/8期修正予想			
		上期実績	下期予想	通期予想	前年比
売上高	32,442	14,471	18,528	33,000	+1.7%
営業利益	6,689	2,491	3,408	5,900	▲11.8%
経常利益	6,761	2,532	3,367	5,900	▲12.7%
当期純利益 [※]	4,571	1,688	2,311	4,000	▲12.5%
1株純利益	168.80円	61.88円	84.69円	146.57円	▲13.2%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

(1) 国内展開

- ◎ 公共投資、インプラント工法の採用件数は堅調に推移
⇒ 建設機械事業において、機械販売の回復が見込まれる

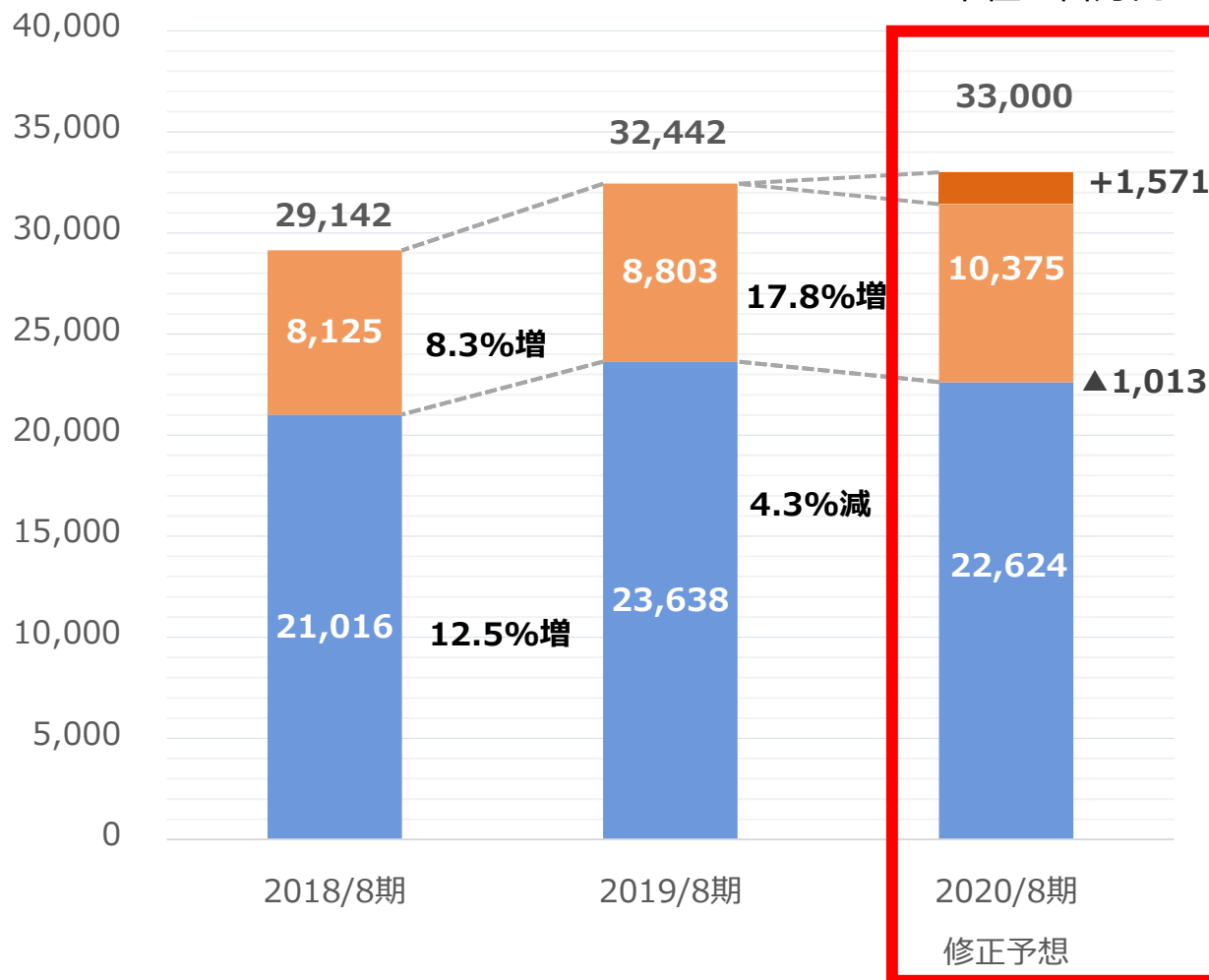
- ◎ 圧入工事は引き続き下期も堅調に推移する見込み

(2) 海外展開

- ◎ Jスチール社をこれまでの鋼材商社を主体とする事業から、圧入工法に特化したエンジニアリング企業へと転換
- ◎ 各海外子会社において、エンジニアリング企業としての体制整備や発注者とのネットワーク構築およびその強化に注力
- ◎ 引き続きO D A 案件の受注活動を強化、促進
⇒アフリカ、中東、東南アジア
- ◎ オランダ新工場の建設が進行中

業績予想－セグメント別売上推移

単位：百万円



■ 建設機械事業 ■ 圧入工事業

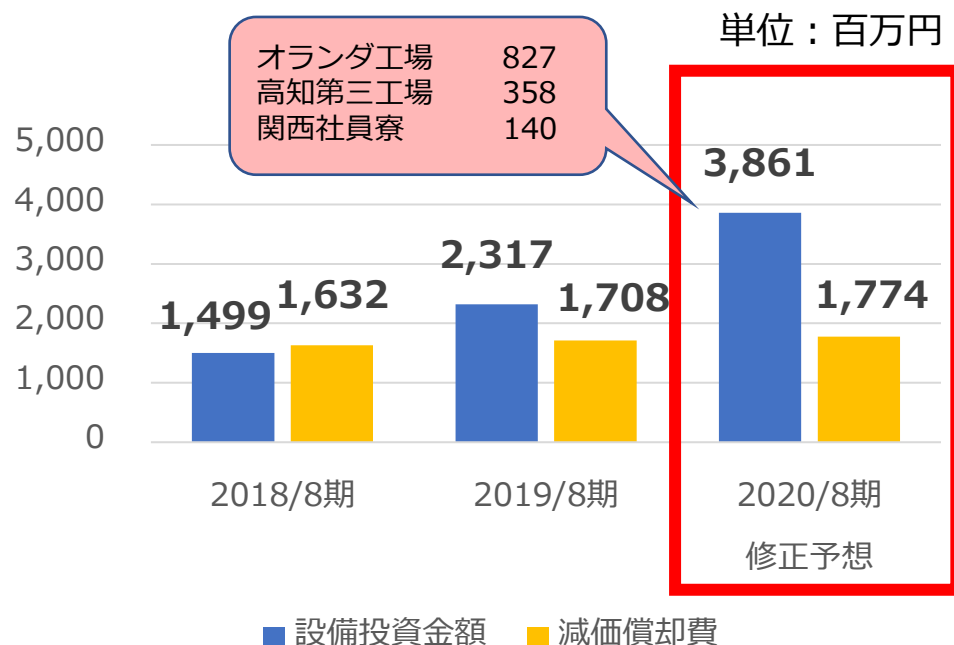
◇建設機械事業 1,013百万円減

インプラント工法の採用件数も堅調に推移しており、一定の機械販売の回復は見込まれるものの減収となる見込み。

◇圧入工事業 1,571百万円増

上期に引き続き好調に推移する見込みであり、増収となる見込み。

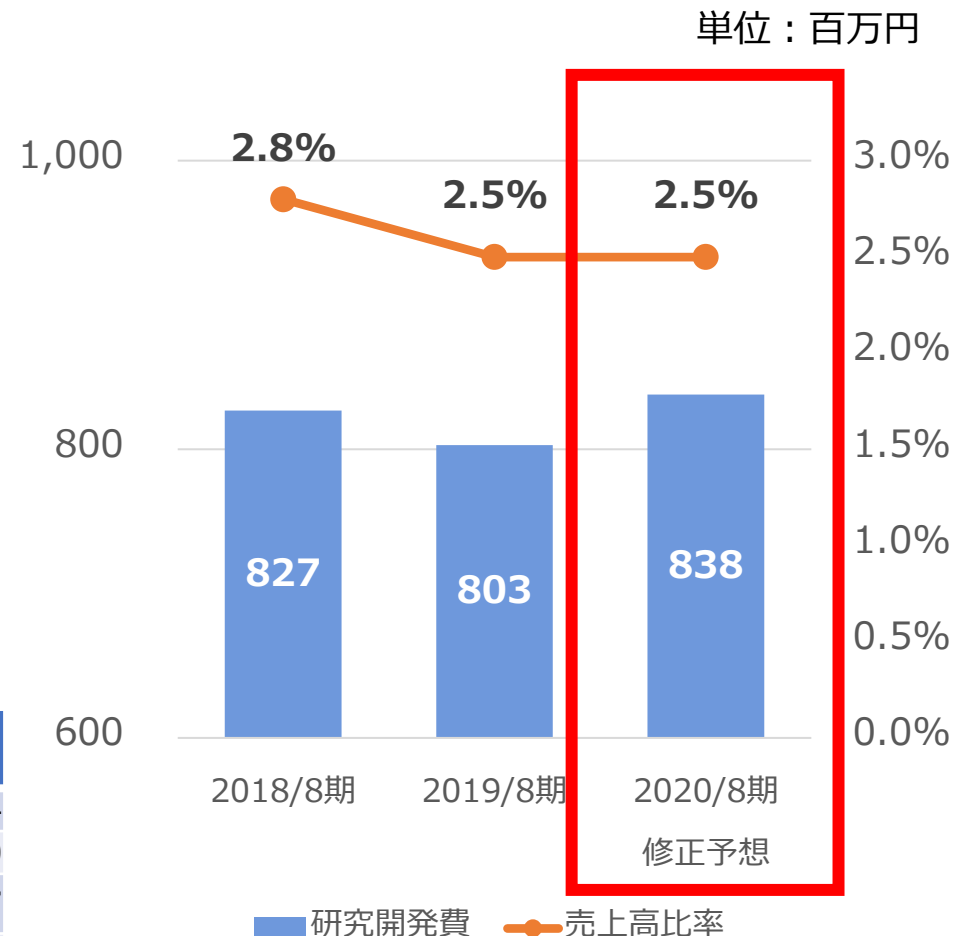
◎ 設備投資、減価償却費



設備投資内訳

	2018/8期	2019/8期	2020/8期 修正予想
レンタル・デモ用機械	707	996	1,894
事務所・工場取得	229	602	1,430
その他	563	719	537
合計	1,499	2,317	3,861

◎ 試験研究費



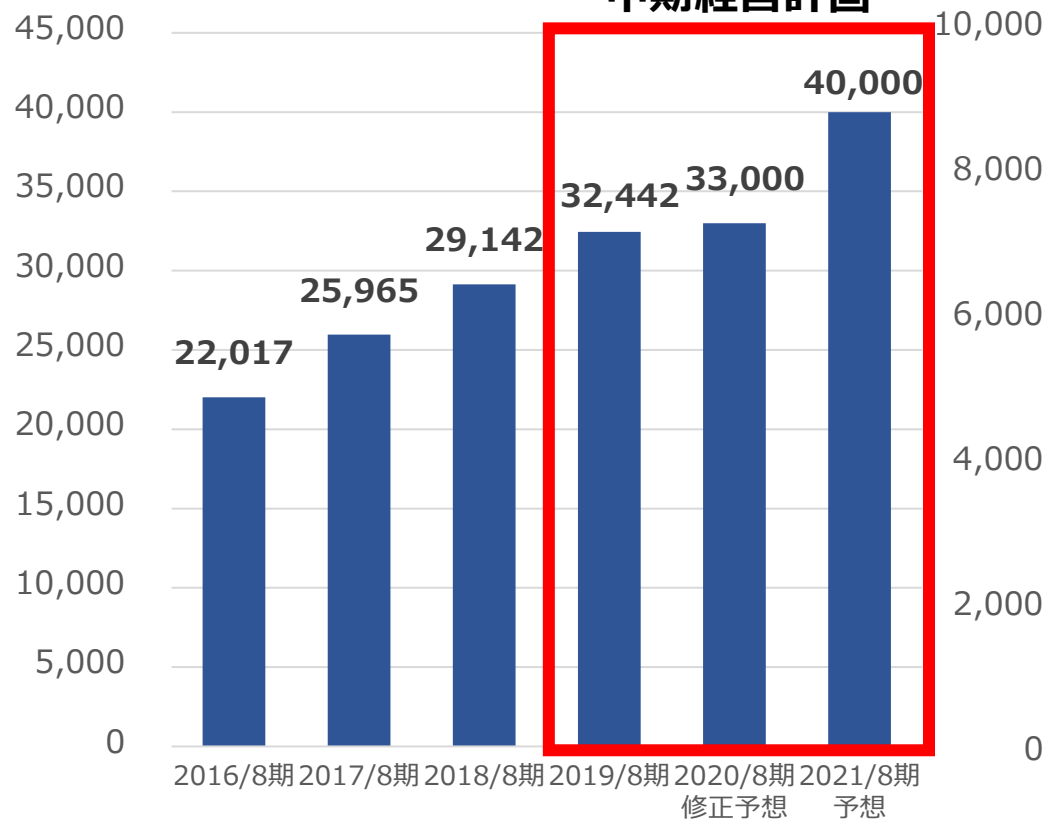
業績予想 – 中期経営計画の進捗



【売上高】

単位：百万円

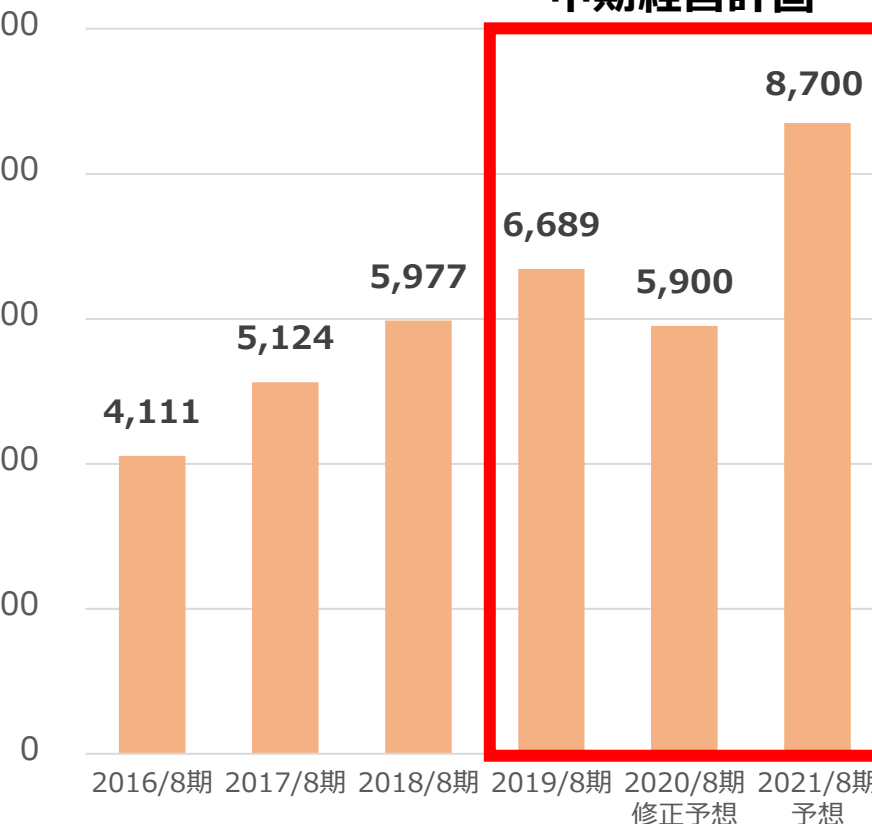
中期経営計画



【営業利益】

単位：百万円

中期経営計画



新型コロナウイルスに関する影響について

現時点においては予見し難いため、連結業績予想には反映しておりません。

国内においては、現時点で生産・販売・工事などの営業活動に大きな影響はでていないものの、今後仕入先・顧客の一時休業、工事の一時中断などが生じる可能性があります。

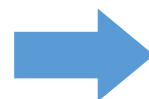
また、海外においても、各国政府の状況を注視しており、同様の影響が生じる可能性があります。

なお、今後連結業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

株主還元

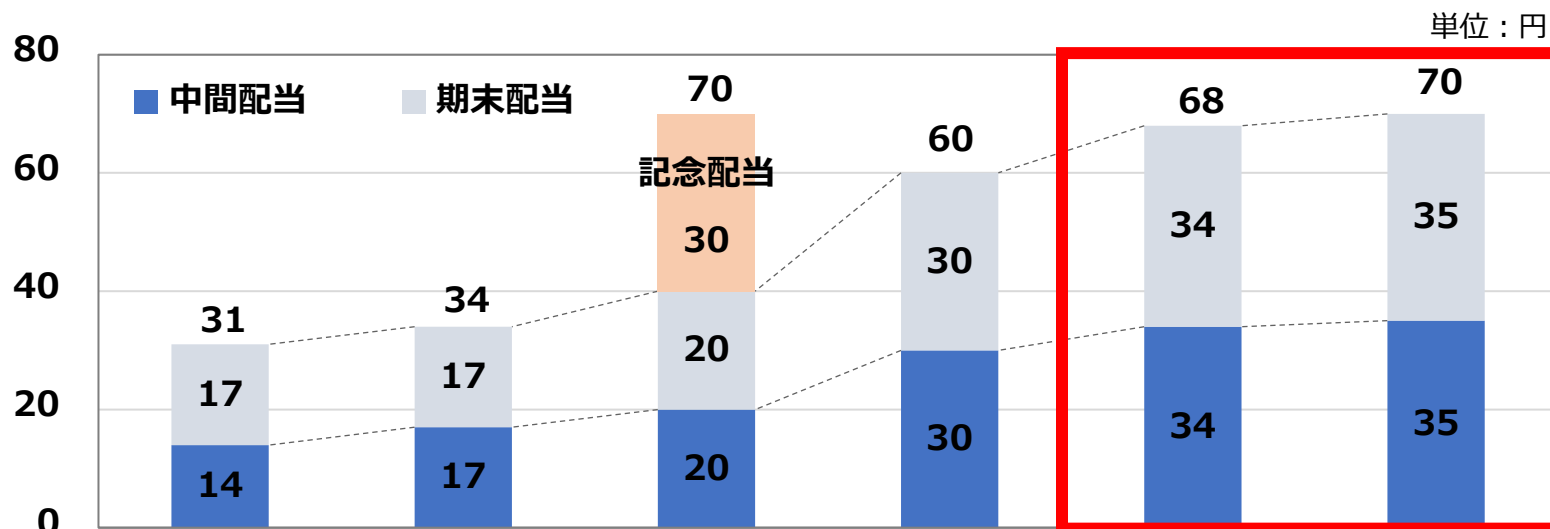
2019/8期

第2四半期配当金…普通配当 34円
 期末配当金 …普通配当 34円



2020/8期

第2四半期配当金…普通配当 35円
 期末配当金 …普通配当 35円 (予想)



	2015/8期	2016/8期	2017/8期	2018/8期	2019/8期	2020/8期予想
当期純利益 (百万円)	2,156	2,725	3,671	4,151	4,571	4,000
1株当たり純利益 (円)	100.34	110.55	146.35	155.75	168.80	146.57
配当性向 (%)	30.9	30.8	47.8	38.5	40.3	47.8

※2017/8期 第2四半期配当金…普通配当 20円 記念配当10円 (創業50周年記念配当)
 期末配当金 …普通配当 20円 記念配当20円 (東証第一部上場記念配当)